

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314M104	生命ホメオスタシス学Ⅱ (Homeostasis II)	専門科目 コース共通専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	水曜・5限	井上 亮, 幸松 美智子 内線: 5051 E-mail: ryo@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

人体を理解するうえで必要な生理機能を疾患と結びつけて学修し、生理機能情報を収集するための理論と実際について理解を深める。各領域の主要疾患について、疾患概念、病因、病態生理と症候（症状と身体所見）、検査所見、治療原則を人体の生理機能と関連付けて理解する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 生体における正常な生理機能を理解する	○					
2. 恒常性を維持するための情報伝達機構を理解する	○					
3. 生理学の知識を疾病理解および病態アセスメントに生かす	○					
4.						

【授業の内容】

1	中枢神経系の病態生理
2	循環器系の病態生理
3	消化器系の病態生理
4	内分泌代謝系の病態生理
5	感覚器の病態生理（聴力検査・味覚検査・嗅覚検査）
6	運動器の病態生理
7	小児疾患理解のための病態生理①
8	小児疾患理解のための病態生理②
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	小テスト	
B: 意見の表現・交換			
C: 応用志向			
D: 知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	次回の学習内容について予習する（8h）。
事後学修	授業で学習した内容を復習する8h）。

【教科書】

からだが見えるー人体の構造と機能（2023）メディックメディア
清村紀子他編（2014）：機能障害からみたからだのメカニズム、医学書院

【参考書】 なし

【成績評価方法及び評価の割合】						
評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	
期末試験（筆記試験）	100%	○	○	○		
【注意事項】						
【備考】						
教員の実務経験の有無	○					
教員の実務経験	医師、看護師					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無						
教員以外の指導に関わる実務経験者						
実務経験をいかした教育内容	各疾患の解剖、生理、病理、病態や治療について専門的見地から講義を行う。					
授業形態	対面授業					